

皆さまとおきぎんをつなぐ情報誌

沖縄銀行 ディスクローチャー誌

2018 情報編
レポート

おきぎん

お客さまとともに未来を創る

— Create the Future —



PEOPLE'S BANK

◎ 沖縄銀行

経営理念

地域密着・地域貢献

めざす銀行像

PEOPLE'S BANK

県民に一番愛される銀行

CONTENTS

巻頭企画 頭取インタビュー

4 おきぎんのビジョン

6 おきぎんグループ 総合力の発揮

12 おきぎんの地方創生

18 商品・サービス

【CSRの取り組み】

24 美ら島のために、できること

【平成30年3月期】

28 業績ハイライト(単体)

皆さまと沖縄銀行をつなぐ情報誌「おきぎんレポート」(ディスクロージャー誌)では、当行の取り組みとともに、沖縄の「今」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

平成30年3月期の詳細な財務データなどは、「ディスクロージャー誌2018(資料編)」をご覧ください。

頭取インタビュー

向かい風が 吹いている今こそ さらなる高みへ

2018年6月、山城頭取による新体制での船出を切った沖縄銀行は、新中期経営計画もスタートしており、新たなステージへと歩みを進めています。そこで、山城頭取に現在の沖縄県経済の課題と沖縄銀行の取り組み、そして今後のビジョンについて伺いました。

頭取

山城 正保

頭取就任にあたっての抱負を お願いします。

昨今の日銀によるマイナス金利政策の導入や相次ぐ地域金融機関の統合、また、2017年9月期の中間決算では地銀全体の5割が減益になるなど、厳しい状況が続いています。しかし、このような中でも、地域とともに新たな価値を創造することが、私たち沖縄銀行の使命であると考えています。飛行機は向かい風を使って浮かび上がります。今吹いている逆風は、高く高く飛ぶために必要な風です。良いことは全員で分かち合えば掛け算になり、問題や課題はグループ全員で取りかかるとで割り算になります。この難局をおきぎんグループの総合力で乗り越え、新たなステージへ進んでいきたいと思っています。

現在の沖縄県経済の分析と 沖縄銀行の施策についてお聞かせください。

入域観光客数増などによる好調な経済環境

現在の沖縄県経済は、主にインバウンドなどの入域観光客数が増加しており、好調が続いています。アジアを中心に日本や沖縄県への観光ニーズが高まっており、那覇空港における国際線の就航便数やクルーズ船の寄港回数が増加しています。当行では、ホテルなどの宿泊施設や飲食店を含む観光関連産業への資金需要に応えていくことで、好調な経済を引き続き下支えしていきます。一方、急激な経済成長に伴う負の側面にも留意する必要があります。例えば、交通渋滞や水供給問題といったハード面や、子

どもの貧困や労働者不足といったソフト面において、問題が顕在化しています。地域金融機関として、県内の社会的課題への解決に向けて、積極的に協力・連携をしていきたいと考えています。

自立型経済の構築

沖縄県は、2012年5月に「沖縄県21世紀ビジョン計画」、2015年には「アジア経済戦略構想」を策定し、自立型経済の構築に向けてビジョンを提示しています。当行でも、「地方創生」に取り組んでいますが、各市町村や那覇市の総合戦略策定においてオブザーバーなどとして参画し、自立型経済構築への貢献に努めています。



山城 正保

1959年生まれ
出身地：沖縄県宜野湾市
趣味：旅行・釣り・ゴルフ

【略歴】

1982年3月 琉球大学 法文学部 卒業
1982年4月 沖縄銀行 入行
2011年6月 執行役員 審査部長
2012年6月 執行役員 営業統括部長
2013年6月 取締役 委嘱 総合企画本部長
2014年6月 常務取締役
2018年6月 頭取 就任

リーディング産業と地場産業による好循環経済

地域の持続的な経済発展のためには、リーディング産業である観光産業と地場産業がクロスする仕組みをつくる必要があります。沖縄銀行では、本部・各営業店で「ビジネスマッチング」に取り組んでおり、リーディング産業と地場産業の連携を促す取り組みを行っています。観光客増加により沖縄県の認知度は高まっており、観光から戻った後の販路拡大では、地場産業に商機があり、好循環構造が構築できると考えています。そこで、当行は「美ら島商談会」の開催や「沖縄大交易会」の協賛を通して、食品事業者の販路拡大を支援しています。

金融関連産業の高度化に伴う投融資や資金供給

金融IT化の進展とともに、ビッグデータの活用やAPIの公開などが広がり、また、フィンテックによる新しい形態の資金供給手段も誕生しています。当行では、お金管理アプリ「Wallet+」や「オープンAPI」における取り組みの強化により、お客さまにとって利便性の高いサービスを提供しています。投融資においては、シローン業務でのアレンジャー業務の引き受けや、メガバンクへのPPP・PFIトレーニーの派遣などを行っており、自治体とも連携しながら、プロジェクトファイナンスの取り組みを強化しています。

これからの経済発展

アジアの中間層は今後も増加し、地理的にアジア諸国から近距離である沖縄県への観光客の流入は続き、沖縄県経済は観光産業を中心に発展していく見込みです。インフラ面でも、那覇空港の空港ターミナルや第二滑走路の整備、クルーズ船拠点の整備が進み、ますます発展が見込まれており、グローバル人材の育成が急務となっています。当行では、海外への研修派遣を通して人材を育成しており、現在、沖縄県シンガポール事務所、沖縄県台湾事務所、三菱UFJ銀行香港支店へ派遣しています。

沖縄県経済の課題への対応について お話しいただけますか。

課題① 子どもの貧困問題

沖縄県は深刻な子どもの貧困問題に直面しています。また、この問題は低い大学等進学率の要因の一つとも考えられています。当行では、沖縄県をはじめ市町村、福祉団体、NPO、民間企業などと積極的に連携し、ライフステージに沿った教育支援・生活支援・就業支援・経済支援などを行っていききたいと考えています。

課題② 全国平均と比較して低い県民所得

全国平均と比較すると、依然として県民所得は低い状況ですが、好調な経済環境のもと、その差は縮小し、ランキングも上昇してきています。沖縄県は、リーディング産業である観光産業をはじめ第2次産業の割合が多く、労働集約型ビジネスが多いため、付加価値が高めづらい状況にあります。そのため、「量」と並行して「質」を追求し、高付加価値化を図っていく必要があり、それが観光産業の底上げを導き、県民所得の向上につながっていくことを期待しています。そこで、当行は「美ら島商談会(観光篇)」の開催を通して、観光事業者の課題解決をサポートすることで、高付加価値化を支援していきます。

課題③ 人手不足と働き方改革

急激な経済成長に伴い、サービス産業や建設業において、人手不足が生じているとお客さまの声からも感じています。加えて、高齢者の増加に伴い、医療・福祉業界も人手不足が生じていると、おきぎん経済研究所の調査で把握しています。将来的には、沖縄県でも人口減少および労働人口の減少が見込まれるという状況で、高齢者や女性にとって働きやすい環境づくりが、今求められています。当行では、女性の活躍をより一層推進するとともに、ITを活用した業務革新や効率化も図り、サービスの質を落とすことなく、お客さまの利便性をさらに高めていきます。こうした働き方改革が進むことで、ゆとりある時間を家族と過ごせ、従業員の満足度が高くなって働きがいを感じ、「お客さま目線」をさらに発揮していきます。また、当行は柔軟な雇用を心がけており、県外・海外へ流出した人材は貴重な経験を積んでおり、その人材が沖縄県へ戻って来たときに受け入れできる体制を整えておくことが重要であると考えています。

課題④ 廃業の増加

廃業の増加に関しては、後継者不在による廃業は経済的損失にもなることから、地域金融機関として税理士やコンサルタントと連携したセミナーの開催、個社別訪問による相談などにより、事業承継の課題解決支援を行っています。こうした支援が、廃業の防止、事業の継続、雇用の確保、世代交代による生産性の向上につながると考えています。

最後に、今後のビジョンを お聞かせください。

当行は、本年4月より新中期経営計画「お客さまとともに未来を創る - Create the Future -」をスタートしています。急速に変化する経営環境においては、環境の変化に適応し、地域経済の発展に寄与する金融サービスに新たな発想で取り組み、地域とともに新たな価値を創造する持続可能性の高いビジネスモデルの構築が必要です。銀行・リース・証券・クレジットカードなど、多様で専門化するニーズに対して、おきぎんグループの総合力で応えていきたいと考えています。また、さらなるIT化も推進し、商品・サービス改革や業務プロセス改革、働き方改革を進め、お客さまの利便性・満足度の向上、そして従業員満足の向上に取り組み、当行の企業価値向上に努めていきます。これからも「お客さま目線」で県民に一番愛される銀行「ピープルズバンク」、そして総合金融サービスグループとして、地域社会の発展に寄与していきます。

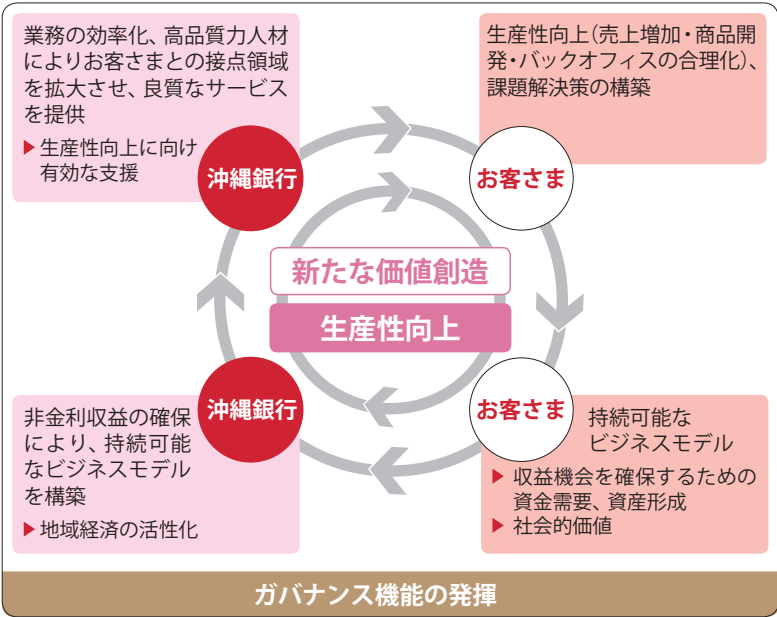
“お客さまとともに
未来を創っていきます”

【2018年4月－2021年3月】
新中期経営計画

お客さまとともに 未来を創る – Create the Future –

新たに策定した新中期経営計画では、前中期経営計画の考えを踏襲しながら新たな発想で、事業領域の拡大やおきぎんグループの総合力によるサービスの拡大を図り、地域社会の発展に寄与することを大きな使命としています。そして、お客さまとともに新たな価値を創造する総合金融サービスグループを目指します。

基本方針 1 地域社会全体の生産性向上



経営数値目標

	経営数値	2018年3月期実績	2021年3月期目標
収益性	連結当期純利益 ROE	5.0%	4%程度
	コア業務純益	81億円	75億円程度
	コアOHR	72.4%	70%程度
成長性	法人メイン先数	7,285先	約8,000先
	取引先数10%増		
	個人メイン先数	323,784先	約350,000先
	取引先数10%増		
健全性	開示債権比率	1.37%	1%程度
	自己資本比率	10.14%	10%程度

お客さま満足

従業員満足

【成果】

地域・社会全体の価値向上

- 持続可能な社会的価値を創造
- 暮らしの充実と県民所得向上
- ワンダフルライフを提供

沖縄銀行の企業価値向上

お客さま満足度を高め、当行のお取引先数を拡大することで、着実な経営基盤を構築します。

法人メイン先

SR先＋準SR先
(継続的に訪問する先
＋貸出金平残50百万円以上先)

個人メイン先

住宅ローン、給振口座、
年金口座のいずれかの契約先

基本方針 2 新中期経営計画における戦略

【2015年4月－2018年3月】
前中期経営計画

新たな
価値創造の3年
– Change for Value –

【2018年4月－2021年3月】
新中期経営計画

お客さまとともに
未来を創る
– Create the Future –

長期ビジョン：経営理念の遂行

沖縄銀行の経営理念に基づき、地域経済の発展に寄与する金融サービスに新たな発想で取り組み、地域とともに新たな価値を創造する銀行

戦略 1 総合力の発揮(グループ収益力改革)

詳しくは ▶ P6-11



おきぎんグループ全体で連結を強く意識し、連結による収益力強化

- 総合金融サービス業(銀行・リース・証券・クレジットカードなど、お客さまの利便性向上)の強化
- グループ企業の業務の見直しなどにより、収益力強化を図る

戦略 2 共通価値の創造(サービス力改革)

詳しくは ▶ P18-23



FinTech・ICTによる新たなサービス(簡単・便利・オトク・安心)の提供とさらなる業務革新を図る

- 商品・サービスの改革を図り、お客さまから支持を得る
- 業務プロセスの改革を図り、業務の見直しによるお客さま・営業店の支援を図る

戦略 3 経営資源の配分(コスト改革)



経営資源の有効配分、コスト意識の醸成(費用対効果の検証)

- 従来型の店舗戦略や渉外活動の革新を図り、デジタル投資へ資源配分を図る
- 営業店や成長分野への人的リソースの有効配置

戦略 4 働き方改革(人事制度改革)



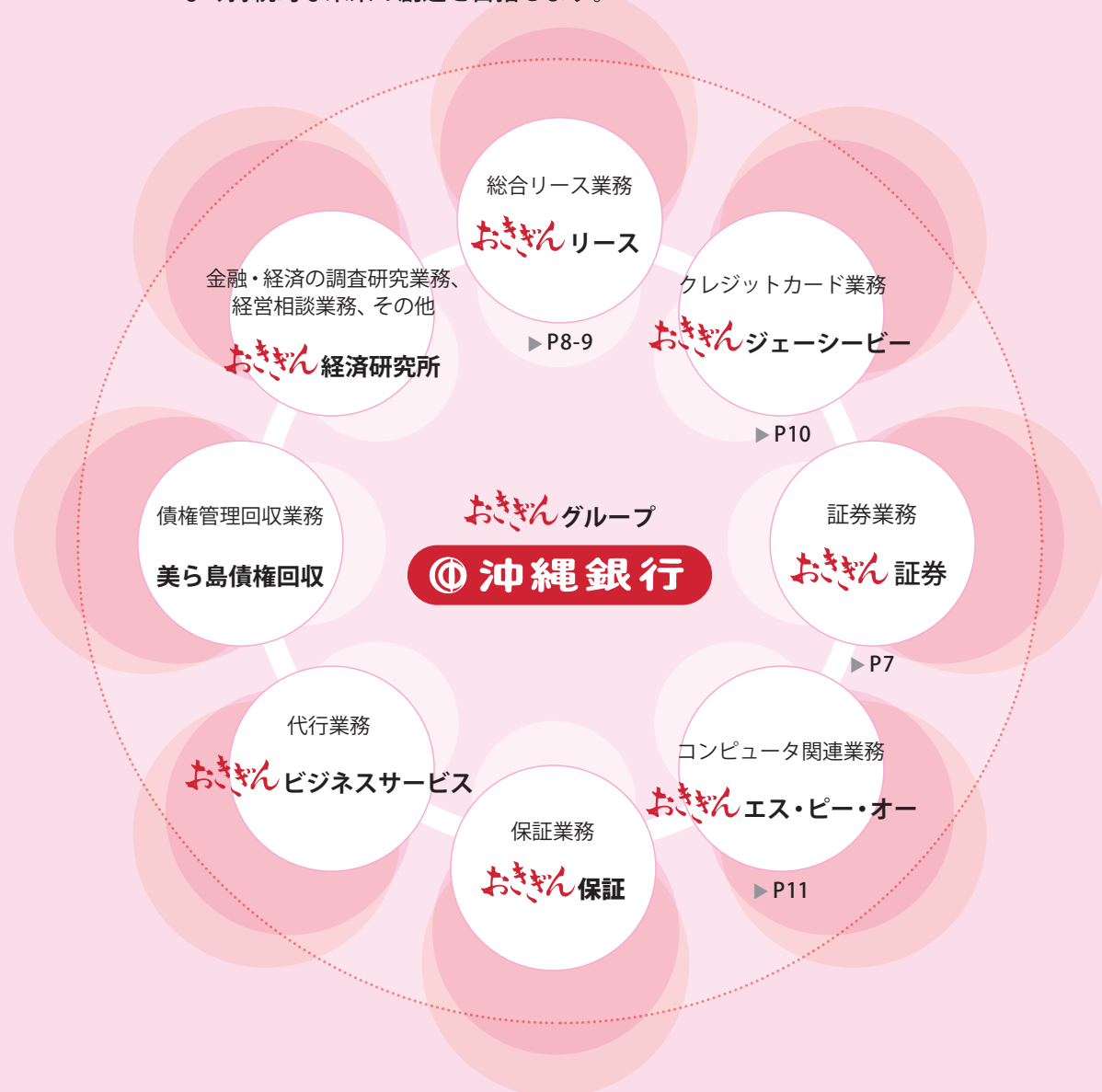
真の従業員満足を実現するために、働き方改革を実現し、生産性向上を図る

- 人事制度の見直し
- 高品質人材(コンサルティング能力の向上、良質な資産形成に寄与)

ガバナンス機能の発揮による戦略の着実な遂行

おきぎんグループ 総合力の発揮

沖縄銀行は、新中期経営計画の戦略の一つとして、「総合力の発揮(グループ収益力改革)」を掲げ、おきぎんグループ全体で連結を強く意識して、連結による収益力強化に取り組んでいます。総合金融サービス業の強化(銀行・リース・証券・クレジットカードなどお客さまの利便性向上)、グループ企業の業務の見直しなどにより収益力強化を図り、地域とともに次世代へつなぐ持続的な未来の創造を目指します。



おきぎん証券

銀証連携によるお客さまの資産形成

おきぎん証券は、「地域密着・地域貢献」の理念のもと、地域のお客さまに価値ある金融商品・サービスを提供しています。おきぎんグループの一員として、沖縄銀行が持つ銀行のノウハウとおきぎん証券の専門的な知識を融合し、「銀証連携」を十分に機能させ、お客さまの資産形成に貢献していきます。

商品・サービス

株式	投資信託	債券
日本株式(国内株式市場上場株式の売買)と米国株式などを取り揃えています。	お客さまのニーズに沿ったさまざまな投資信託を取り揃えています。	国内債券および外国債券など、各種債券を取り揃えています。

ご参加
無料

勉強会・セミナー開催!

おきぎん証券では、お客さま向け・初心者向け、ご参加無料の勉強会やセミナーを開催しています。お気軽にお問い合わせください。

開催実績

沖縄銀行・おきぎん証券「共同セミナー」
株式講演会・IRセミナー/株式セミナー/
ラジオNIKKEI IRセミナー/
資産運用セミナー/相続対策・投資環境セミナー など



新春共同セミナーの様子

詳しくは ▶ <http://www.okigin-sec.co.jp> お問い合わせ ▶ おきぎん証券・本店 Tel: 098-862-6125

おきぎんリース

法人のお客さまの設備リースから 個人のお客さまのマイカーリースまで

おきぎんリースは、創業以来、「企業奉仕」の経営理念のもと、お客さまからのご支援により着実に営業基盤を拡充し、現在沖縄県全域を対象にサービスを提供しています。今後もリース業務を通し、地場産業の発展に大きく貢献していきます。

リース対象物件

一般リース

産業・工作機械、
商業設備 など

コンピューター、
FAX、医療機器
など

建設機械・
フォークリフト、
船舶、航空機

工具(金型など)



オートリース

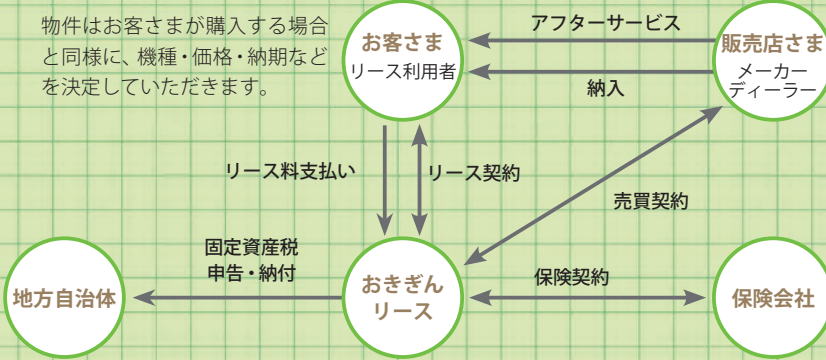
自動車



リースのしくみ

お客さまが選んだものを
リース会社がお客さまに
代わって購入し、
お貸しするものです。

物件はお客さまが購入する場合
と同様に、機種・価格・納期など
を決定していただきます。



固定資産税の申告や納付など、
所有に伴う一切の事務管理は
おきぎんリースが行います。

損害保険は、おきぎんリースが保険会社とリース物件
を包括契約しており、個々に付保するよりも有利とな
る場合があります。

リース事例 1

クリニック新設に伴うリース契約

物件名 医療機器
リースの種類 ファイナンスリース

- 1 お客さまのニーズ
クリニックの新築、ならびに医療機器の設備導入。
- 2 導入のポイント
クリニック開院後の5年目以降に医療機器の陳腐化に伴う
入れ替えを想定し、医療機器をリース契約で対応しました。
- 3 導入後の効果・結果
将来陳腐化による入れ替えが想定される医療機器を、
リース契約で導入することで、常に最新の医療設備を
患者さまに提供できる環境が整いました。



(注)写真はイメージです

リース事例 2

円滑な資金管理が可能なリース契約

物件名 店舗設備の入れ替え
リースの種類 ファイナンスリース

- 1 お客さまのニーズ・導入の背景
店舗設備の入れ替えに伴い、お客さまから経費処理および
コスト管理をスムーズに行いたいとの希望がありました。
- 2 導入のポイント
リース契約で設備を導入しました。
- 3 導入後の効果・結果
毎月定額支払いで資金管理がスムーズに行えるリース契約が、
お客さまのコスト管理、ならびに資金計画に貢献しました。



(注)写真はイメージです

おきぎんジェーシービー

キャッシュレスライフを応援

おきぎんジェーシービーは、創業以来、沖縄銀行のグループ会社として、クレジットカード業務を通して沖縄県の発展に寄与してきました。今後も、会員・法人・加盟店の皆さま、それぞれの立場に立ったサービスを展開していきます。

おトクなサービスいろいろ

4つの機能で便利なカード「PiPuCa」



- ・JCBクレジットカード
- ・おきぎんキャッシュカード
- ・ANAマイレージクラブ
- ・電子マネー楽天Edy

たまったポイントをすてきな商品に交換



さまざまなシーンで使えるから、ポイントがたまる。商品などに交換できておトク。

毎日のさまざまなシーンで、快適に使える



携帯電話・電気・ガス・保険料など、毎月のご利用料金のお支払いも可能です。

インターネットサービス「My JCB」



カードご利用代金明細の照会やポイント照会・商品応募など、簡単にご利用いただけます。

Pick Up

経営者・個人事業者の皆さまへ
JCB法人カードがおすすめ!

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| おすすめ
1 ポイントがたまる | おすすめ
4 事務処理の効率化 |
| おすすめ
2 インターネットでの仕入れに便利 | おすすめ
5 間接コストの削減 |
| おすすめ
3 公私の区別がつく | おすすめ
6 年会費は経費で |



あらゆるビジネスシーンをバックアップする便利でスマートなカードです!

詳しくは ▶ <https://www.okigin-jcb.co.jp> お問い合わせ ▶ おきぎんジェーシービー Tel: 098-862-3201

おきぎんエス・ピー・オー

お客さまのICT環境構築を支援

おきぎんエス・ピー・オーは、「尊重と情熱」の経営理念のもと、先端の技術力と独創的な発想力で、金融機関や地方自治体のシステム構築・導入やネットワーク&セキュリティの構築支援などを行っています。

主なサービス



情報システム関連
コンサルティング
セキュリティポリシー
策定支援

システム導入における支援コンサルティングや、業務分析・診断を行い、問題点の洗い出しや最適なシステム案を策定・支援



システム構築・導入支援

情報システム導入に伴う要件定義からシステム設計、開発、導入、運用、監視まで、トータルにサポート



ネットワーク&
セキュリティ構築支援

ネットワークの設計と構築、ネットワークセキュリティ構築を支援



クラウドサービス

お客さま所有のICT資産を安心・安全な環境でお預かりするハウジングサービス、インフラ基盤を提供するクラウドサービスを用意



代金回収

お客さまの顧客(集金先)から、各種代金を顧客取引金融機関より口座振替にて代金回収を行う

詳しくは ▶ <https://www.ospo.co.jp> お問い合わせ ▶ おきぎんエス・ピー・オー 本社 Tel: 098-917-0612

おきぎんの
地方創生

沖縄銀行
コザ支店

空き店舗 活用による 地域活性化



ファンファーレ・ジャパンが商店街の空き店舗をリノベーションし運営しているトリップショットホテルズ・コザ。写真はルーム名「ロックサイド」。「ROCK」をコンセプトにヴィンテージ家具を配置した重厚感ある客室。



写真はルーム名「レッドルーム」。元飲食店だった店舗を、赤を基調にした落ち着いた重厚感ある客室にリノベーション。



(左から) (株) ファンファーレ・ジャパンの神山氏と島袋氏、沖縄銀行の伊志嶺と山里

沖縄銀行
コザ支店 支店長
山里 将一郎

沖縄銀行
大道支店 支店長
(前コザ支店 支店長)
伊志嶺 朝太

コザの魅力を伝えるホテルを演出

沖縄文化とアメリカ文化が混ざり合った独特な文化や景観が今も残るコザ市街地。その中央パークアベニュー通りに、空き店舗を活用した「街ホテル事業」が展開され話題を呼んでいます。

当事業を企画・運営する株式会社ファンファーレ・ジャパンは、2016年7月に通り沿いに2つの空き店舗を改装した「トリップショットホテルズ」を開業。広いコンドミニウムタイプの客室は大人が最大で4名まで宿泊でき、プライベートな旅が満喫できます。当ホテルの最大の特徴は、客室内が前店舗の面影を残すユニークな造りと、客室ごとに間取りやコンセプトが異なるこだわりの演出です。例えば、元飲食店の客室では、1980年代に実際に使用されていたカウンターや壁紙を活かしたデザインで、当時のコザの夜を体感することができます。ホテル開業か

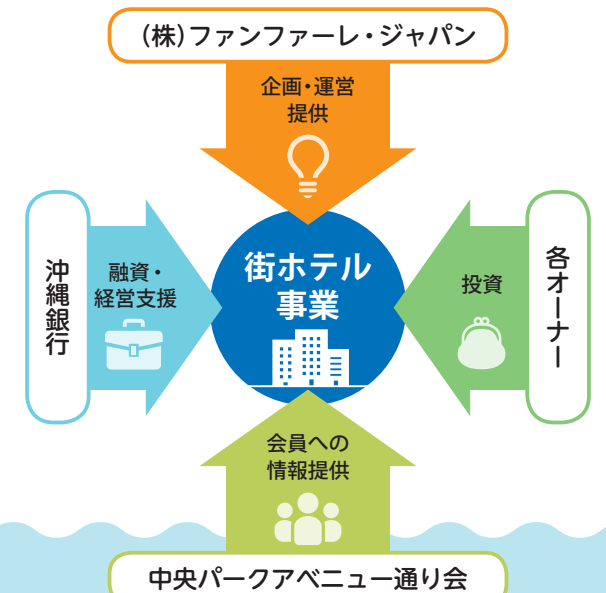
ら2年間で客室も5部屋となり、宿泊者の口コミなどからリピート客も増え、高い客室稼働率を維持しています。株式会社ファンファーレ・ジャパンの島袋社長は、「ホテルに泊まることでコザの魅力を感じてもらえることができる」と自信を見せ、店舗数の拡大によって、より多くの人をコザの街に呼び込み、地元の商店や企業との交流が増えることで中央パークアベニュー通り全体が盛り上がっていくことを目指しています。

沖縄銀行は、当事業は民間主導型の市街地活性化プロジェクトの事例と捉え、今後も引き続き、オーナーの紹介や経営アドバイス、さらに地元の中央パークアベニュー通り会との連携体制の構築に協力するなど、積極的にサポートしていきます。

Info トリップショットホテルズ・コザ
所在地：沖縄県沖縄市中央2-6-47
Tel：070-5489-3969



連携イメージ





与勝半島全域の 地域活性化

1
与勝半島から
平安座島を結ぶ
海中道路

2
世界遺産
勝連城址



(左から) 沖縄銀行の津波古、徳森養鶏場のノーマン氏、
(有) 津島工業の富里氏、沖縄銀行の川満、うるま市商工会の平良氏

与勝半島全域の観光名所・資源



全員参加で与勝を盛り上げたい

近年、与勝半島は県内外から多くの観光客が訪れており、2000年に世界遺産に登録された「勝連城址」、与勝半島を結ぶ全長4.75キロの「海中道路」、さらには架橋で結ばれた宮城島、伊計島、浜比嘉島など、美しい自然が多く残されています。また、現代版組踊り「肝高の阿麻和利」や伝統エイサー、天然もずく、ぬちまーす(塩)など、沖縄の伝統文化や食に通じた魅力ある地域です。

このように多くの観光資源がある中で、地元の皆さまから「地元を盛り上げる活動を提案できる場が欲しい」との声を受け、沖縄銀行主催で、与勝通り会「肝高あやし組合」(仮称)を設立。2018年3月の設立総会では、地元企業の皆さまをはじめ、うるま市商工会、うるま市観光物産協会、うるま市役所など、

総勢70名ほどが参加して地域活性化の取り組みがスタートしました。理事長に選ばれた徳森養鶏場代表のノーマン裕太ウエイン氏は、「与勝の良さを若い世代とともに考え、活動できるチャンスを提供したい。会員の皆さまだけに限らず、多くの方々との交流を通じて、与勝を盛り上げていきたい」と意気込みを語っています。肝高あやし組合の会員企業数は2018年6月時点で38社となり、7月に開催の地域イベント「HeartY Village×シーアート@ayahashi」へ組合として参画しています。

沖縄銀行は、会員企業との連携を深めながら、中小企業の活性化、伝統文化の継承、次代のうるま市を担う人材の育成など、魅力ある経済圏を地元主導で構築していく取り組みへの支援を続けていきます。

沖縄銀行
与勝支店 支店長
川満 賢朗

沖縄銀行
我如古支店 支店長
(前与勝支店 支店長)
津波古 雄二





X-Tech Innovation 2017

Nothing ventured, nothing gained

新|ビ|ジ|ネ|ス|創|出

デジタルテクノロジー × サービスアイデア

沖縄銀行
デジタル事業部
デジタル事業グループ
徳田 安志

沖縄銀行
システム企画グループ
大城 広亮

既存の枠組みを超えるイノベーション

X-Tech Innovationは、ICTの急速な進展に伴い、独自性・新規性を有するさまざまなサービスが続々と誕生していることに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス、ビジネスアイデアをスタートアップ企業から広く募集することで、優れたアイデアを発掘・表彰するコンテストです。これらのビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや、沖縄銀行および沖縄に根ざす企業とのマッチング、既存ビジネスへの活用可能性を模索することで、地域経済の活性化への貢献を目指しています。2017年度は、ふくおかフィナンシャルグループ、北海道銀行との協働により、沖縄・九州(福岡)・北海道(札幌)の3地域を軸とした日本を縦断する地域共創型イベントとして開催しました。今後も、地域や既存の枠組みを超えた新たなネットワークの構築、オープンイノベーションの実現を目指していきます。

X-Tech Innovation 2017 最優秀賞(沖縄地区)



受賞企業 **Signpost**
サインポスト株式会社

サービス名 **ワンダーレジ**
商品認識にディープラーニング技術に応用したAIレジ

テーマ **IoT**
あらゆるモノがインターネットにつながるIoTの次のキーワード。モノだけでなく、ヒトやコト、データなどがつながるIoT(Internet of Everything)の世界から生まれてくる新しいライフスタイルやビジネス

Wonder Register

世界初!
A.I.搭載
レジ

ワンダーレジは人工知能を搭載したレジスター。レジ待ち時間の短縮に加え、一般消費者や小売業で深刻化する人手不足などの課題を解決します。



- #### 従来のPOSレジ
- 1台ごとにレジ業務を行う定員が必要で、慢性的な人手不足に…。
 - 一つひとつ商品のバーコードを読み取るため、時間がかかる…。
 - レジスペースが限られ増大できない…。



- #### ワンダーレジ
- ワンダーレジと既存POSレジのハイブリッド化で店舗の人手不足解消に貢献！
 - A.I.が複数商品を一括認識し、スピード会計！設置台数増加で、レジ待ち行列解消に貢献！

お問い合わせ サインポスト株式会社 本社 Tel: 03-5652-6031

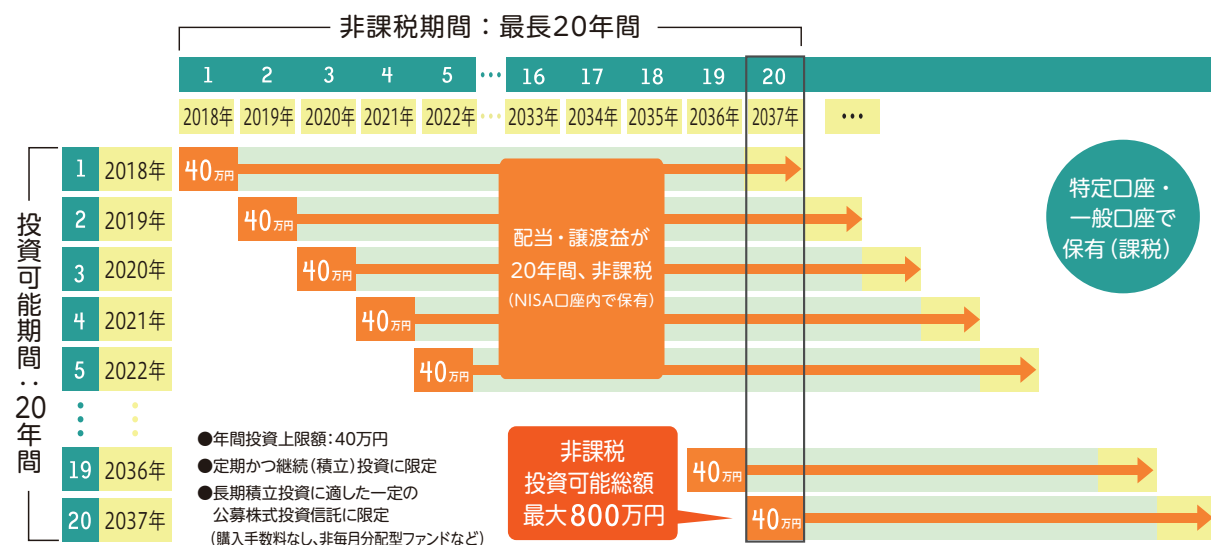
少額から毎月コツコツ、積立投資で資産形成

つみたてNISA

[ニーサ]

少額から長期の積立・分散投資による資産形成に適した少額投資非課税制度「つみたてNISA」が2018年1月からスタートしました。これに伴い、沖縄銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えすべく、新たに「つみたてNISA」専用ファンドを加え、投資信託ラインアップを拡充しています。当行では、今後も投資信託の品揃えの充実を図り、お客さまの資産形成にお役立てできるよう、サービスの向上に努めていきます。

（つみたてNISAのイメージと主な特長）



これまでのNISAと同様に毎年の非課税投資枠から得た利益・分配金にかかる税金はゼロとなりますが、非課税投資枠が年間40万円で、投資期間が最長20年という点で異なります。

非課税投資枠は
毎年40万円まで
(最大800万円)

公募株式投資信託の
譲渡所得・配当所得が
最長20年非課税

長期・分散投資に適した
一定の投資商品に限定

- ・信託期間が無期限または20年以上
- ・販売手数料が不要
- ・分配頻度が毎月ではない
- ・信託報酬が低率 など

定時・定額での
積立投資

現行NISAと
つみたてNISAは
1年ごとの選択となり、
同年に併用は不可

詳しくは
こちら!!

<http://www.okinawa-bank.co.jp/kojin/unyo/toshin/index.html>



■商号等：株式会社 沖縄銀行／登録金融機関 沖縄総合事務局長（登金）第1号 ■加入協会：日本証券業協会

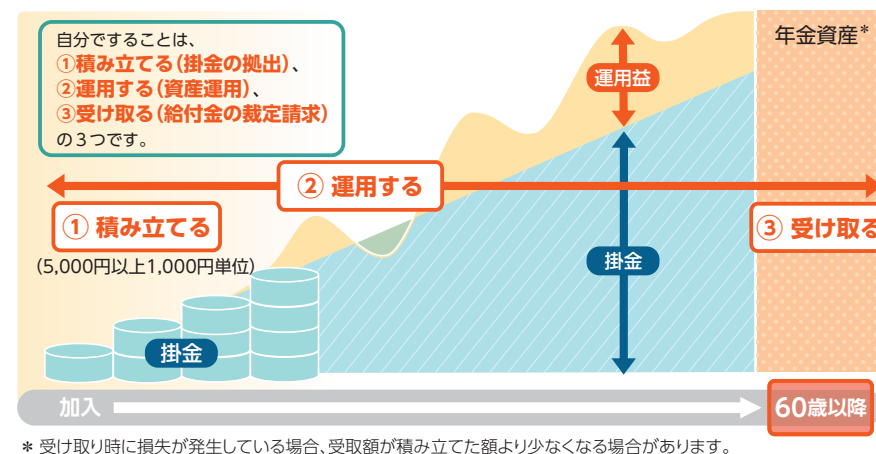
個人型確定拠出年金

iDeCo

[イデコ]

沖縄銀行は、県民の将来を応援する銀行として、iDeCo（個人型確定拠出年金）の商品ラインアップの拡充を進めています。「iDeCo」は、税制メリット満載で、将来に備えることができるおトクな個人型確定拠出年金です。年金は、自分でつくる時代へ。ぜひ、ご利用ください。

（iDeCoのしくみ）



税制メリット

掛金は
全額所得控除
(小規模企業共済等掛金控除)

運用時は
非課税

給付時に
税制優遇

特長

詳しくは
こちら!!

http://www.okinawa-bank.co.jp/kojin/shohin_service/ideco.html



商品ラインアップ

初心者から投資経験者まで、幅広いニーズにお応えする商品ラインアップをコンセプトに、厳選された運用商品をご用意しています（運営管理機関：大和証券（株）・東京海上日動保険（株））。

iDeCoの留意点

- ・iDeCoは、原則60歳まで資産を引き出すことができません
- ・iDeCo加入時には初期手数料がかかり、別途口座管理手数料がかかります

大好評!!
40万
ダウンロード突破

夢までの距離が見える、お金管理アプリ

Wallet+

[ウォレットプラス]

沖縄銀行と株式会社ふくおかフィナンシャルグループ傘下のiBankマーケティング株式会社は、iBank社が運営するスマートフォン専用アプリ「Wallet+」の沖縄銀行口座利用者向けサービスを提供しています。Wallet+はアプリに口座を登録することで、口座残高や収支の明細が手軽に確認でき、アプリ内で目的預金やローン、資産運用が可能で、さらに情報コンテンツの配信やクーポンの提供などの機能も備えた、新しいマネーサービスです。

主な機能

お金の見える化!



残高照会 収支管理



Wallet+に登録した銀行口座の残高や収支を、いつでもどこでもスマホで手軽にチェックできます。

お金をためる!



目的預金



「旅行に行きたい」「車がほしい」「好きな洋服も」。アプリ内で目的と金額を自由に決めて預金できるから、楽しくお金が貯まります。



お金を運用

THEO

[テオ]

毎月の収支で余ったお金をすぐに使わないお金を簡単に運用にまわせます。

情報コンテンツ



今すぐ使える情報から、将来役立つ情報まで、オリジナル記事を毎日配信!

クーポン



Wallet+でお金を貯めると目的預金に関連したクーポンがもらえます。

ダウンロードはこちら!!



ロボアドバイザーで、おまかせ資産運用

THEO+ 沖縄銀行

[テオプラス]

THEO+沖縄銀行は、株式会社お金のデザインが独自開発した日本初ロボットアドバイザーによる投資一任運用サービスTHEOを、同社が沖縄銀行のお客さま向けに使いやすくカスタマイズしたサービスです。お客さまが年齢や金融資産額などの基本的な質問に答えるだけで、ロボットアドバイザーが世界の約6,000のETF(上場投資信託)の中から最適な組み合わせを提案・運用する、新しい資産運用のカタチです。

はじめての人でも
手軽に最小限のコストで
資産運用を始められる

0円

完全無料であなたに最適な
資産運用プランを診断します

1万円

1万円から世界標準の
高度な資産運用をご利用できます

1.0%※

投資一任報酬は預かり資産の
1.0%(税抜・年率)だけ

※3,000万円を超える部分は0.5%

0円

追加の費用は一切かかりません

365日 24時間

いつでもプランの変更*・
解約申込みができます

※ただし、プランの変更は運用開始月を基準として
年間2回まで可能です



あなたの資産を 守り、増やす

- ☐ 1万円からプロレベルの
国債分散投資を
- ☐ 運用報酬1%で、
全ておまかせ
- ☐ 1万円からの積立で、
資産形成を長期サポート

まずはメリットを体験。たった3つのステップで、世界経済とつながりましょう。

1 申込みは、最短3分。

口座開設はオンラインで
全て完結。必要なのは、
たった3分と、運転免許
証など本人確認書類とマ
イナンバーだけ。

2 プランを決定

年齢や金融資産額に基
づき、THEOがあなたに適
したプランを提示。ご自
身でカスタマイズするこ
とも可能です。

3 あとは、入金するだけ

最短2営業日で口座開
設が完了。入金後まもな
く、資産運用がはじまり
ます。

詳しくは
こちら!!

「THEO+沖縄銀行」は、株式会社お金のデザインが当行のお客さま向けに提供する投資一任運用サービスです。当行はお客さまと株式会社お金のデザインとの投資一任契約の媒介を行います。ご登録前に必ずWebサイトよりご留意点をご覧ください。http://www.okinawa-bank.co.jp/kojin/shohin_service/theo/index.html

毎日のお買い物をスマートに

Debit

[おきぎんJCBデビットカード]

沖縄銀行は、お客さまにご満足いただける商品・サービスへの取り組みの一環として、キャッシュレス化を推進しており、「おきぎんJCBデビットカード」を発行しています。このデビットカードは国内外のJCB加盟店でご利用でき、お買い物のたびに、代金が指定口座から引き落とされます。預金残高内で、お客さまご自身でご利用限度額を設定できるため、使いすぎの心配はありません。現金感覚で使えるおトクなデビットカード、ぜひご利用ください。

一体型

デビットカード機能
+
キャッシュカード機能一体型：
ジンベエザメ一体型：
ミンサー柄(赤)

単体型

デビットカード機能

単体型：
ハイビスカス単体型：
ミンサー柄(紫)

主な特長

即時引き落としで
スマート運用

口座預金から即時引き落としされるので、毎日のお買い物にも「現金」と同じ感覚でご利用いただけます。

ご利用状況を
リアルタイムで通知

利用するとメールで通知されるため、万が一の不正利用の早期発見につながります。

チャージいらずで
ポイントも貯まる

口座から直接引き落とされるのでチャージの心配なし！便利に買い物した上に、Okidokiポイント*が貯まります。

パートナー店で
さらにおトクに

当行が提携している県内企業でご利用いただくと、Okidokiポイント*が2倍貯まります。

ATM手数料の心配なし
24時間ご利用可能

ATMから引き出さず口座預金を利用できるので、手数料などの負担が軽減できます。また、24時間ご利用可能です。

WEBから
簡単お申込み

来店不要でお申込みいただけます(受付時間 8:00～22:00)。

海外ATMから
現地通貨が引出し可能

現金が必要になった時に海外の提携ATM・CDから、預金を現地通貨として引き出すことができます。

詳しくは
こちら!!

http://www.okinawa-bank.co.jp/kojin/shohin_service/jcb/debit.html



相談窓口支援システム

MIRAI

[ミライ]

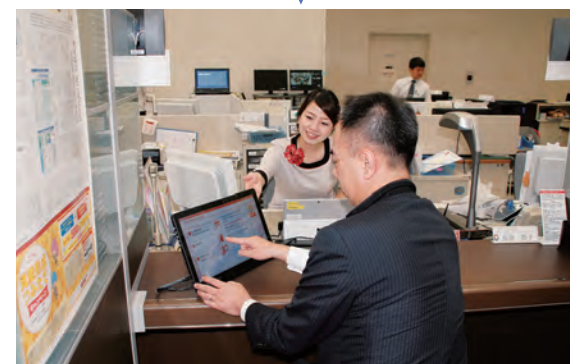
口座開設や住所変更、カードやインターネットバンキングのお申し込みなど、タブレットで受付できる相談窓口支援システム「MIRAI」を、沖縄銀行は自行で開発し、導入しています。従来は、申込書に住所・氏名・勤務先などのご記入が必要でしたが、MIRAI導入後はタブレットの操作と署名のご記入のみで完了します。今では個人のお客さまの口座開設のほとんどをタブレットで受付しており、業務効率化・ペーパーレス化に貢献しています。

従来

申込書のご記入が必要



MIRAI導入後

タブレットの操作
+
署名のご記入のみ

口座開設

住所変更

MIRAIでできる
主なサービスインターネット
バンキングPiPuCa
お申し込み

タブレット画面イメージ



お客さまはタブレットの画面に沿って
タッチパネルを操作するだけ!!

地域社会への貢献

美ら島のために、できること

沖縄銀行は、健康・環境・教育・福祉・文化への取り組みを通じて、地域社会に貢献していきます。

司法試験の合格支援！ 「リーガルアシスタント制度」

沖縄銀行は、司法試験挑戦中の琉球大学法科大学院の修了生を嘱託職員として採用し、受験勉強を応援する支援制度（リーガル・アシスタント制度）を設けています。2017年9月、司法試験の合格発表があり、当行支援制度の利用者が合格しました。また、利用者のOB会も結成し、第1回総会が開催され、各界で活躍する多くのOBが出席し、盛況裡に終わりました。今後も同制度を継続し、地域に貢献する法律家を目指す司法試験受験生を支援していきます。

支援制度利用者の合格者数

13名 (22名が制度を利用)	2008年度	1名
	2010年度	1名
	2011年度	2名
	2012年度	1名
	2013年度	2名
	2014年度	3名
	2015年度	2名
	2017年度	1名

“経済面だけではなく精神面でも支えていただき、合格することができました”

私は、今回の4回目の受験で司法試験に合格できました。2015年11月からリーガル・アシスタントとして採用していただき、この制度により、5月の試験まで勉強に集中できる環境を整えていただきました。県外出身の私にとっては、この制度がなければ、合格を目指して切磋琢磨してきた仲間とともに沖縄で勉強を継続することはできませんでした。また、試験前には温かい応援のメッセージをいただくなど、経済面だけではなく精神面でも支えていただき、試験後は、リスク管理部法務グループの一員として、実際に銀行法務に携わらせていただきました。法令や金融庁などの各省庁のガイドラインが銀行組織のルールとしてどのように反映され、どのように組織が動いているのか。営業店・各部署はどのような問題に悩み、どのような回答を求めているのか。日々、営業店・各部署が直面する法律問題や契約書のチェックを通じて、これら現実の問題に悩み、解決策を見つけ出していく過程は、銀行の法務部門でしか経験することはできなく、貴重な経験となりました。合格発表を受けてお祝いの言葉をかけていただき、この結果は沖縄銀行の皆さまの多大なご支援によるものであることを改めて感じています。本当にありがとうございました。



2017年度 合格
小川 祐さん

合格者談

沖縄の
未来を育む

人財支援

「おきぎん夏休み親子お金研究室」を開催

沖縄銀行は、2018年8月に「おきぎん夏休み親子お金研究室」と題して、特別授業を開催しました。小学校5～6年生とその保護者ら45組90人が参加し、経済の仕組みの基礎について座学を受けた後に、模擬の株券を使ったゲームを通じて投資について学びました。また、このイベントでは、進学を控えた親子のより良い関係構築の一助となればと当行が発刊した「親子で話す、進学とお金の話。」を配付しました。



「エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催

2017年12月、「第12回エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催しました。同大会は、金融教育活動の一環として、高校生が楽しみながら金融経済について学び、金融知力を身に付けることを目的としています。大会では、高校生が金融・経済の知識を競い合い、優勝チームは東京での全国大会に進出しました。当行は今後も継続して、金融経済教育の普及に努めていきます。



「LEAP DAY」に特別協賛

沖縄銀行は、2017年12月開催の沖縄県の人財育成をテーマとした情報発信イベント「LEAP DAY」に特別協賛しました。このイベントでは、国内・海外の第一線で活躍する企業家や投資家たちのコラボセッションから、中学生から大学生で構成されたRyukyufrogs*9期生のプレゼン、小学生プログラマーアプリ開発プレゼン、起業家プレゼンなどが行われました。

※ハイブリッドイノベーター型人財育成プログラム



「おきぎん経営者塾」を開催

「創業間もない経営者」と「後継者予定者」を結び付け、中小企業経営者として必要な知識やノウハウの習得、同世代経営者間のネットワーク構築を目的とした「おきぎん経営者塾」を2018年1～3月に開催しました。本塾は、少人数のグループワークが中心で、県内で活躍する税理士などの専門家と当行による地域密着型サポートにより、参加者を支援しました。



沖縄振興を
応援

おきぎんふるさと振興基金

(公財)おきぎんふるさと振興基金は、健康・環境・教育・福祉・文化などさまざまな分野において、沖縄の振興に貢献する方々を支援する目的で設立され、将来性があると判断される個人・団体・企業などに対して助成を行っています。

2018年度 助成実績

6先 500万円

助成実績(助成開始以降の累積)

265先 1億7,220万円

主な助成プロジェクトをご紹介します！

サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ

県内女子中高生の理系への進路選択を支援することを目的として、OIST 人材多様化セクションと琉球大学ジェンダー共同推進室との連携により、2014年度より本プロジェクトが開催されています。科学技術分野の第一線で国際的に活躍する女性研究者たちによる講義や実習を通じて最先端の研究に触れ、OISTや琉球大学的女子学生と交流しながら、理系進学に関する進路相談や科学技術に関心のある仲間づくりの機会を提供しています。

2016年度
助成先

OIST
人材多様化セクション



バードウォッチングを通じた環境教育と地域活性化

地理的にバードウォッチングに極めて適した地域である沖縄において、関連する大会やシンポジウムを開催することは、地域の野鳥への関心を高め、環境保全の取り組みを考える良い機会となります。近年、外国人観光客も急増しているため、沖縄におけるバードウォッチングの取り組みは観光の観点からも重要です。これらを踏まえて、沖縄におけるバードウォッチングの普及に取り組んでいます。

2016年度
助成先

名城大学
国際学群 新垣研究室



ピーパーズ増産体制の強化と加工部門の差別化

ピーパーズ(沖縄のナガコショウ)は、普及活動によってメディアに取り上げられるようになりました。沖縄そばに香辛料として良く使われており、TV番組で医学研究者たちに紹介されると、全国から注文が殺到するなど大きな反響がありましたが、生産量が少ないため十分な対応ができませんでした。こうした状況にも対応できるよう、生産・加工・販売の一層の強化に取り組んでいます。

2017年度
助成先

ピーパーズを生かす会



健康
応援
BANK

健康応援バンク



2018

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

「健康経営優良法人2018
-ホワイト500-」に認定

県内初！
大規模法人部門

沖縄銀行は、沖縄県の県民一体の健康づくり運動「健康おきなわ21」に賛同する形で、2005年に「健康応援バンク」宣言を行い、以来さまざまな取り組みを実施してきました。そして、2018年2月、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2018(大規模法人部門)-ホワイト500-」に認定されました。今後も、おきぎんグループ職員のライフスタイル改善支援や、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいきます。

地図上で
ウォーキングを
楽しめる
「健康ウォーク
マップ」



ウォーキング大会への協賛や参加



スポーツイベントに協賛

お知らせ

募金・義援金

募金先

日本赤十字社
沖縄県支部

当行役職員一同は、「日本赤十字社沖縄県支部」へ職場募金30万円を贈呈しました。

募金先

沖縄県結核予防婦人連絡協議会

沖縄県結核予防婦人連絡協議会に対して、当行役職員から寄せられた職場募金20万円を贈呈しました。

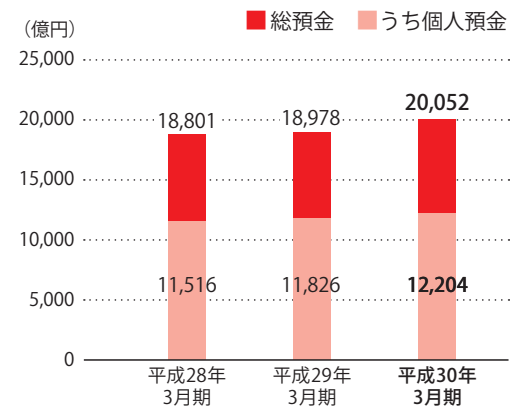
義援金

九州豪雨災害

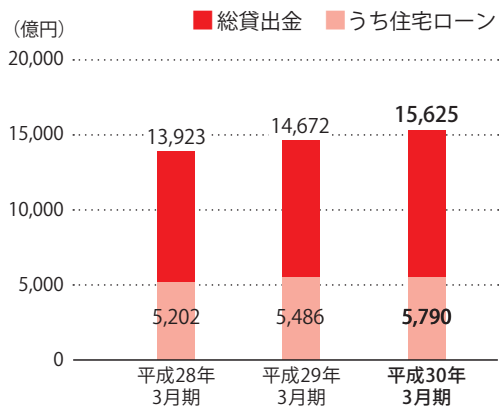
記録的な豪雨に見舞われた九州北部に対して、琉球新報社を通して義援金50万円を贈呈しました。

平成30年3月期 業績ハイライト(単体)

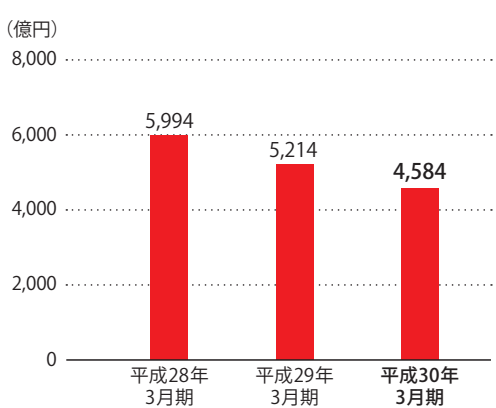
預金



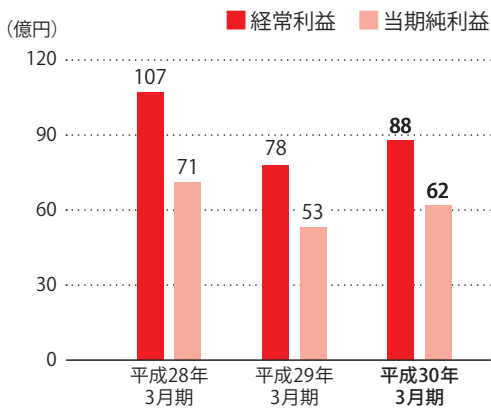
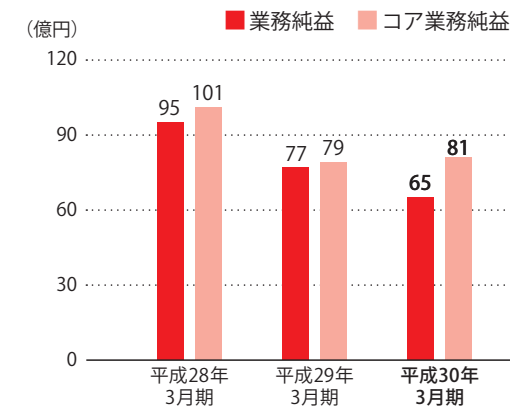
貸出金



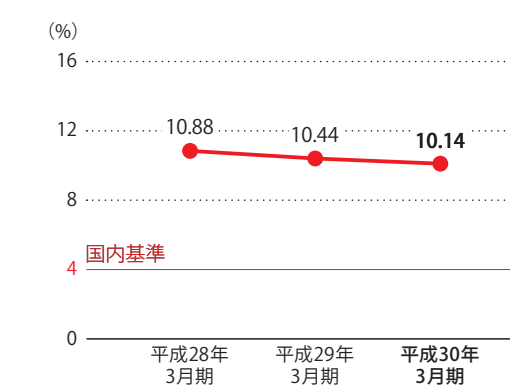
有価証券残高



損益の状況



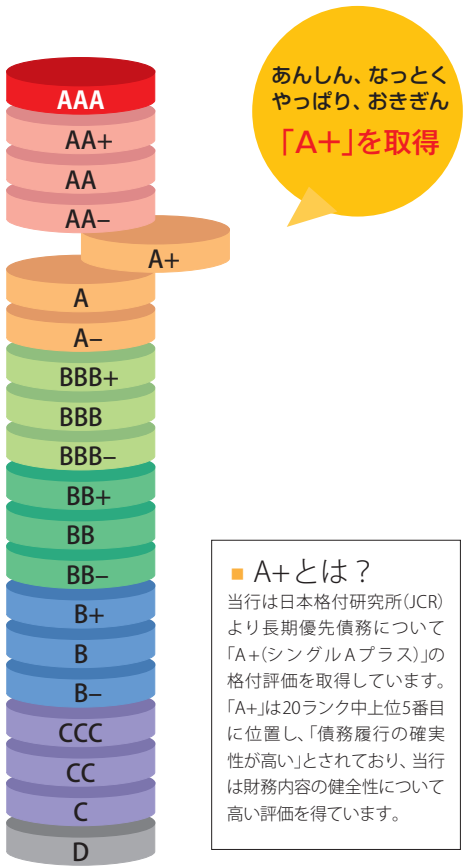
自己資本比率



■ 自己資本比率とは？

総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外営業拠点をもたない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

銀行の財務内容の健全性を評価する「格付」



銀行の概要

(平成30年3月31日現在)

商号	株式会社 沖縄銀行
設立	昭和31年6月21日
創業	昭和31年7月10日
本店所在地	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号
総資産	2兆2,030億円
預金残高	2兆52億円
貸出金残高	1兆5,625億円
資本金	227億25百万円
自己資本比率	10.14%
従業員数	1,123名
店舗数	65店舗

おきぎんグループ

- 総合リース業務
株式会社 おきぎんリース
- クレジットカード業務
株式会社 おきぎんジェーシービー
- 証券業務
おきぎん証券 株式会社
- コンピュータ関連業務
株式会社 おきぎんエス・ピー・オー
- 保証業務
おきぎん保証 株式会社
- 代行業務
おきぎんビジネスサービス 株式会社
- 債権管理回収業務
美ら島債権回収 株式会社
- 金融・経済の調査研究業務、経営相談業務、その他
株式会社 おきぎん経済研究所



お金の管理ができれば、 アプリで夢もつかめる



お 金 管 理 ア プ リ 【 ウ ォ レ ッ ト プ ラ ス 】

Wallet+

沖 縄 銀 行



App Store または
Google Playで検索、
今すぐダウンロード



おきぎん ウォレット



スキャンして
簡単
ダウンロード



〈Wallet+について〉・iBankマーケティング株式会社 が提供するサービスです。・預金サービスは沖縄銀行が提供するサービスであり、預金サービスのご利用には沖縄銀行の普通預金口座(個人のみ)の登録が必要です。

PEOPLE'S BANK

◎ 沖縄銀行

●発行：平成30年8月 ●編集：沖縄銀行 総合企画部 沖縄県那覇市久茂地3-10-1 Tel. 098-869-1253

